

令和4年9月28日

保護者 様

佐世保市立江迎小学校
校長 薮 英彦

令和4年度 学力調査（市・県・全国）の結果について

涼秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のことと推察いたします。また、日頃より、本校の教育活動に対しまして、深いご理解とご協力をいただいておりますことに、心よりお礼を申し上げます。

さて、学力の向上につきましては、学校と家庭とが一体となった取組を行うことが肝要との趣旨から、下記の通り本校の学力調査の結果及び考察についてお知らせいたします。ご家庭におかれましても、お子様の家庭学習に取り組ませる際の参考としていただけますと幸いです。ご支援ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

記

1 佐世保市学力調査

【対象学年及び教科】 4年生 国語・算数 【実施日】 令和4年4月19日（火）

【結果】

- ・国語の本校平均は、全国及び佐世保市の平均を上回っている。
- ・算数の本校平均は、全国及び佐世保市の平均を下回った。

【考察と対策】

（1）国語

- ・「書くこと」の正答率は、全国及び市の平均正答率を大きく上回っている。校内研究で取り組んでいる「自分の考えをもち表現できる児童の育成 ～条件に沿って書く力を育てる単元づくり・指導を通して～」の成果が出ており、今後もさらなる向上を目指して取り組んでいく。
- ・一方で、根拠をもって自分の考えを話すことを苦手になっている児童が多い。また、漢字の読み書きの力が十分定着していない児童も多く、いずれも日々の授業や家庭学習を大切に、力を伸ばしていく必要がある。

（2）算数

- ・「数と計算」における（整数）－（小数）や（二桁）×（二桁）の正答率が低かった。四則計算については、日頃の授業はもちろん、かがやき算数（朝の学習）のスキチャレ、家庭学習等でも繰り返し取り組ませていく。
- ・「図形」の、根拠を明らかにして作図を説明する問題の正答率が低かった。国語科における課題（根拠を持って説明する）が算数にも表れている。算数の授業においても、自分の考えを根拠を示しながら説明する活動を意識して設定していくことで、児童の思考力や表現力を伸ばしていく。

2 長崎県学力調査

【対象学年及び教科】 5年生 国語・算数 【実施日】令和4年4月19日（火）

【結果】

- ・国語の本校平均は、長崎県及び佐世保市の平均を上回った。
- ・算数の本校平均は、長崎県及び佐世保市の平均を上回った。

【考察と対策】

（1）国語

- ・「知識及び技能」の漢字の読み書きの正答率が高く、よく定着している。今後も、授業や家庭学習等で、より一層の習熟を図っていく。
- ・「書くこと」「読むこと」において、資料を要約してまとめる問題や、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考える問題について、苦手になっている児童が多い。本校の校内研究のテーマである「自分の考えをもち表現できる児童の育成 ～条件に沿って書く力を育てる単元づくり・指導を通して～」に則て、読む力や書く力の向上を図っていく。

（2）算数

- ・「図形」の面積を求める問題は、正答率が低かった。かがやき算数やスキチャレ、ドリル等で、色々なパターンの面積を求める問題に取り組ませることで、力をつけさせる。
- ・「データの活用」では、棒グラフから数値を正しく読み取る問題はよくできていたが、グラフの項目間の関係や、データを表に分類整理する力が十分に育っていない。今後は、算数の授業はもちろん、社会科や総合的な学習等とも関連させながら、データを読み取る力や活用する力を育てていく。

3 全国学力・学習状況調査

【対象学年及び教科】 6年生 国語・算数・理科・学習状況調査

【実施日】令和4年4月19日（火）

【結果】

- ・国語の本校平均は、全国及び長崎県の平均を下回った。
- ・算数の本校平均は、全国及び長崎県の平均を下回った。
- ・理科の本校平均は、全国及び長崎県の平均を下回った。

【考察と対策】

（1）国語

- ・「話す聞く」「書く」において、全国と長崎県の平均を上回った。特に、身近な環境問題について記述する問題は正答率が高かった。本校の校内研究のテーマである「自分の考えをもち表現できる児童の育成 ～条件に沿って書く力を育てる単元づくり・指導を通して～」の成果が出ており、今後もさらなる向上を目指して取り組んでいく。
- ・「読む」領域については、物語や説明文の内容を適切に読み取る力をつけるために、日々の授業での実践を充実させると共に、読書の習慣化を図っていきたい。

(2) 算数

- ・「数と計算」領域は、全国及び長崎県の平均正答率とほぼ同じで、特に $(4 \text{ 桁}) \times (1 \text{ 桁})$ 、 $(4 \text{ 桁}) \div (1 \text{ 桁})$ の計算は高い正答率であった。今後もかがやき算数のスキチャレ、家庭学習等で計算練習に継続して取り組ませ、力を高めていく。
- ・「変化と関係」の領域は、飲み物の量を半分にした時の果汁の割合について、正しい答えを選択する問題で、正答率が低かった。また、「データの活用」領域においても、割合を使った問題での正答率が低く、割合についての理解と活用する力を高めていく必要がある。

(3) 理科

- ・「エネルギー」の領域では、実験の結果について、根拠を明らかにして自分の考えを記述する問題で、全国と県の正答率を上回ることができた。本校の校内研究のテーマである「自分の考えをもち表現できる児童の育成 ～条件に沿って書く力を育てる単元づくり・指導を通して～」の成果の表れであると考え、これからも継続して取り組んでいく。
- ・「粒子」の領域では、実験の結果をもとに、課題に対するまとめを考える問題の正答率が低かった。これからの学習においても、実験や観察の結果について十分考察する時間を設定し、そこから事実を見出す力を伸ばしていけるよう、日々の指導に努めていく。

(4) 全国学習状況調査

質問「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(授業の予習・復習を含む)」

- ・「よくしている」・ 本校 13.6% 全国 27.5% 長崎県 23.6%

上記の結果からわかるように、自ら主体的に学習に取り組む習慣を付けさせるために、家庭学習の内容や取組方について指導をしていく。

質問「平日（月～金）、1日あたりどれぐらいの時間、勉強をしますか。」

- ・「3時間以上」・ 本校 4.5% 全国 11.3% 長崎県 6.8%
- ・「2～3時間」・ 本校 22.7% 全国 13.8% 長崎県 13.8%

「2～3時間」の児童については、全国と長崎県の割合を上回っている。学習する習慣は概ね定着してきているので、今後は3時間以上の学習に取り組めるよう習慣化を図っていく。

質問「学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間勉強していますか。」

・「4時間以上」	・本校 4.5%	全国 8.0%	長崎県 5.4%
「3～4時間」	・本校 4.5%	全国 5.4%	長崎県 5.6%

休日も学習にしっかりと取り組む習慣を身に付けさせるのは、中学校生活に向けて、とても大切なことである。取り組む内容も含めて、しっかりと指導していく。

質問「平日（月～金）1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。」

・「2時間以上」	・本校 0%	全国 7.2%	長崎県 6.7%
「1～2時間」	・本校 0%	全国 10.1%	長崎県 9.8%
「30分～1時間」	・本校 13.6%	全国 19.1%	長崎県 18.9%

本校6年生の読書時間は、全国、長崎県と比べて、極めて少ないと言える。本校では年間を通して1人100冊以上の読書を目指しているが、今後もそれを目標に継続して取り組んでいくと共に、目的に合った読書や選書の仕方等についても指導し、読書の質も高めていく。

質問「平日（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、コンピューターゲームをしますか。」

・「4時間以上」	・本校 18.2%	全国 17.2%	長崎県 13.7%
「3～4時間」	・本校 18.2%	全国 13.5%	長崎県 13.7%
「2～3時間」	・本校 27.3%	全国 19.5%	長崎県 19.6%

本校6年生は、ゲームに費やす時間が非常に多く、1日に2時間以上の児童が全体の6割以上となる。本来学習にあてるべき時間のかなりの部分を、ゲームに費やしていると考えられる。今後は家庭とも協力し、ゲームの時間を制限して学習時間を増やすなど、より望ましい生活時間の構築に努めていきたい。

質問「平日（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、SNS等にあてていますか。」

・「4時間以上」	・本校 9.1%	全国 10.9%	長崎県 7.4%
「3～4時間」	・本校 13.6%	全国 8.8%	長崎県 8.1%
「2～3時間」	・本校 13.6%	全国 12.8%	長崎県 11.9%

ゲーム同様、SNS等に費やす時間も長い。3人に1人が、1日に2時間以上もSNS等を利用している。家庭と連携して、SNS等の利用の仕方について指導し、より望ましい生活時間の構築に努めていかなければならない。